

ZEH 目標公表資料

我が国では、エネルギー基本計画（令和3年10月閣議決定）において、「2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す」とともに、「2030年において新築戸建て住宅の6割に太陽光発電設備が設置されることを目指す」とする政策目標を設定しており、地球温暖化対策計画（令和3年10月閣議決定）においても同様に政策目標を設定しています。

中野土建株式会社は、上記政策目標とその達成に向けたZEHロードマップに基づき、ZEHの自律的普及を目指して外皮性能、高性能設備を組み合わせ、新築する建物に導入し、温熱効果ガス排出量の削減に努めることで地球環境の保護に貢献し、お客様の未来を見据えたゼロエネルギーハウスづくりの実現に努めます。

ZEH普及実績及び目標（新築注文・建売住宅に対するZEH受託率）

ZEH普及実績と普及目標					
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ZEH普及実績					ZEH普及目標
0%	10%	17%	46%	67%	75%

ZEHの周知・普及に向けた具体策

- ・新聞折り込み広告、SNS広告、WEB広告等で広く広報する。
- ・モデルハウス来場者にパンフレット、チラシ等を用いてZEHのメリットを訴求する。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

- ・自社ZEH仕様の標準プラン（外皮性能基準、省エネ・再エネ設備の導入）を構築する。
- ・一次エネルギー消費量計算等申請に係る業務を内製化する。

その他の取り組み

- ・太陽光発電システム以外のエネルギー削減率を出来るだけ高める。
- ・新製品をこまめにチェックし性能が良いものを選ぶ。
- ・気密性能を確保する建材を選択し快適で省エネルギーな住宅を提案する。